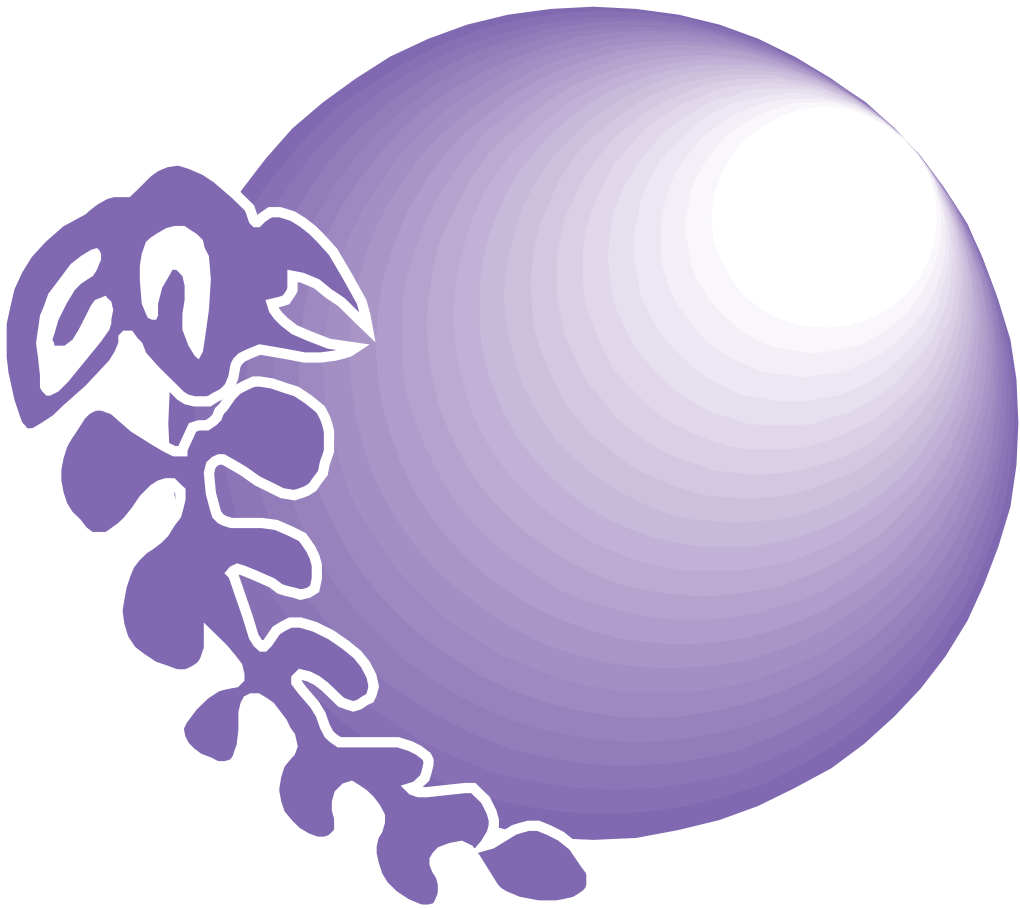


平成27年度

# 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

## 平成27年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	4
1-5 学校法人組織機構図	5
2 事業の概要	
2-1 入学試験の状況	6
2-2 卒業者数、終了者数	7
2-3 トピックス	7
2-4 設置認可	10
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	11
3-2 事業活動収支計算の推移	19
3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ	20
3-4 事業活動収支計算の財務比率の推移	22
3-5 資金収支計算書	23
3-6 資金収支計算書 収入の部	23
3-7 資金収支計算書 支出の部	23
3-8 活動区分資金収支計算書	23
3-9 事業活動収支計算書	23
3-10 貸借対照表	24
3-11 監査報告書	25
4 今後の課題	25

## 理事長挨拶

### 学園理事長・学長 須藤賢一(農学博士)

#### ■略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長



### 自己の可能性を社会で活かす道へ

皆さんは、それぞれ内なる可能性を必ず持っています。その真価を社会で発揮することは、自分自身の人生を豊かなものとするだけでなく、よりよい社会を築く力となります。

本学は、医療・福祉・教育の分野を専門とする4学部7学科を擁しています。医療・福祉・教育は、我が国の施策において今後ますます重視され、進歩が求められます。今日、医療においてはチーム医療が、教育においては幼保一体化や幼小中の連携への取り組みが強化されています。また、少子高齢社会において、福祉の視点はあらゆる分野に必要です。それぞれの現場で専門家として活躍し、新たな変革の担い手となる人材を育てる。それが本学の教育の目指すところ です。医療・福祉・教育は、いずれも人の一生に欠かせないものです。

本学は、それら「人をささえる分野」に特化した総合大学として、各専門分野の学びおよび資格取得と、専門を超えて1人の人間の幸せをトータルに見つめる包括的な視野を重視しています。その専門性と総合性の融合が、各分野のリーダーとして最前線を牽引する可能性をひらくことでしょう。

さらに国際化する社会においては、海外を志向する学生のみならず、我が国の地域社会をささえる人材にも国際的な素養が求められます。本学は、インドネシアのステカス大学、ドイツのフレゼニウス大学およびベトナムのホーチミン医科薬科大学と教育・学術交流協定を結び、教員の共同研究を推進するとともに、学生の海外研修や本学を訪れる留学生との交流を充実させています。それらの機会に積極的に参加して国際性を磨くことにより、将来の活躍の幅も広がります。

本学は健大精神として、人の喜びを自分の喜びとする「自利利他」を掲げています。人とふれあい、人の役に立つ実感は何ものにも代えがたいやりがいです。その充実感こそが、自己の無限の可能性を引き出すエネルギーとなるでしょう。自分自身を社会で活かす生き方をスタートしてみませんか。本学では志を育み、かなえる環境を整えてお待ちしております。

～高崎健康福祉大学HPより～

## 1 法人の概要

### 1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総体的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

### 1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

\*現員数は平成27年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学定員 (人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	0	—	—	6	1
	保健福祉学専攻		3	3	—	—	6	4
	食品栄養学専攻		4	2	—	—	8	6
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	3	—	—	9	10
	食品栄養学専攻		2	0	—	—	6	3
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	12	2
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	7	—	—	12	14
計			24	16	—	—	59	40
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	70	63	2年次 1 3年次 3 4年次 4	0 0 1	288	312
	社会福祉学科		60	75	2年次 1 3年次 6 4年次 10	1 1 0	257	292
	健康栄養学科		80	89	—	—	320	332
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	104	—	—	540	572
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	111	—	—	360	384
	理学療法学科		40	50	—	—	160	179
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	84	3年次 5 4年次 5	0 0	330	350
計			520	576	35	3	2,255	2,421
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日制課程	昭和43年度	460	455	—	—	1,380	1,366
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	132	—	—	360	364

### 1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	準学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止
平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止

平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部へ改称、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設
平成27年	4月1日	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開設

#### 1-4 役員・評議員・教職員の概要

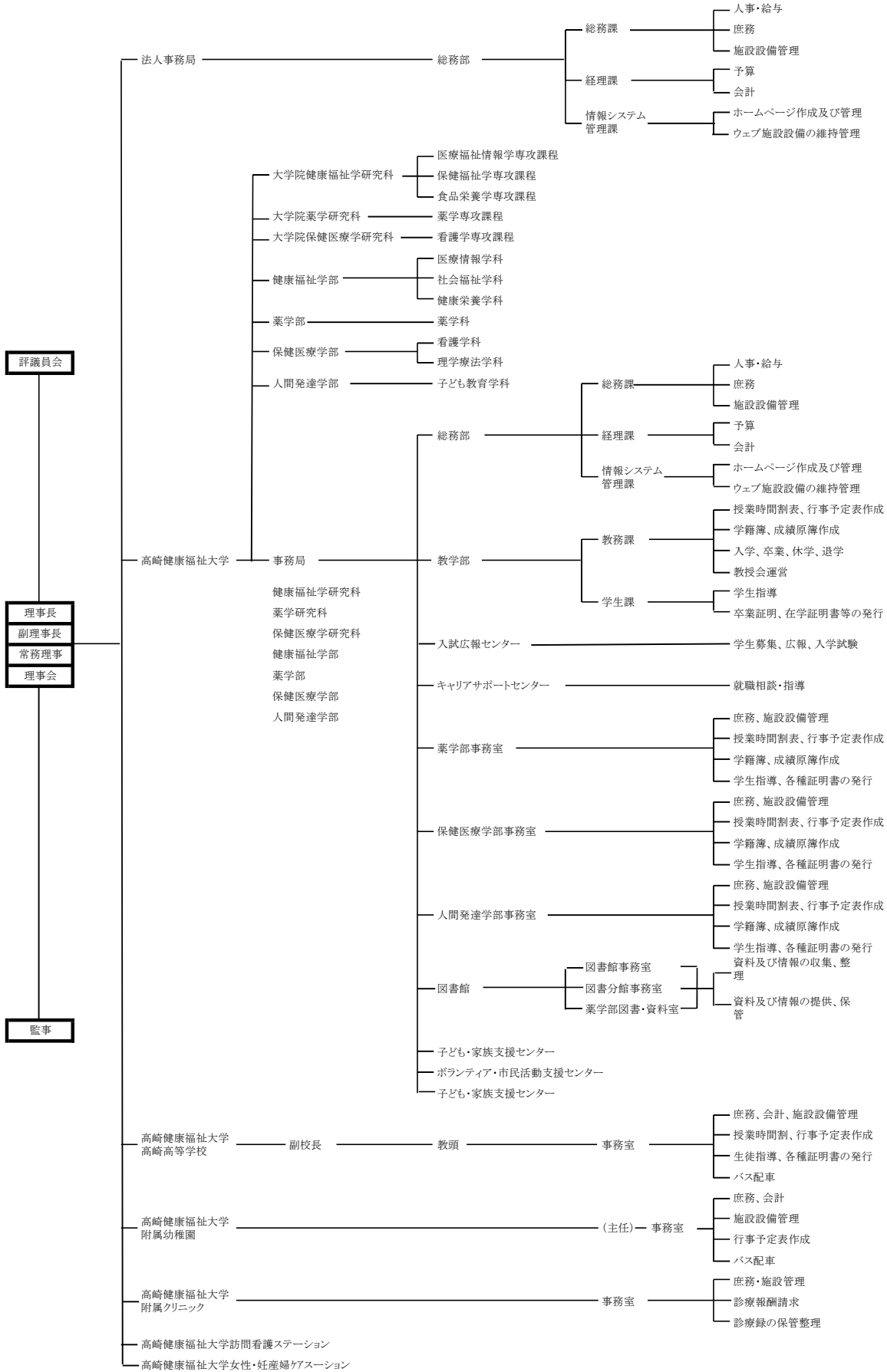
理事	理事長	須藤 賢一	監事	伊藤 文隆
	副理事長	磯貝 昭夫		永井 乙彦
	常務理事	平川 敬		
	内部理事	他3名		
	外部理事	他5名		
評議員		23名		

#### 教職員

\*平成27年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	1	1	2
大学	健康福祉学部	60	36	39	37	172
	薬学部	36	6	6	12	60
	保健医療学部	54	21	9	14	98
	人間発達学部	29	16	4	7	56
	小計	179	79	58	70	386
	高等学校	72	14	6	11	103
	幼稚園	24	7	2	4	37
	合計	275	100	67	86	528

1-5 学校法人組織機構図



## 2 事業の概要

### 2-1 入学試験の状況(平成28年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	AO	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	3	38	142	0	183
			受験者	3	38	139	0	180
			合格者	3	38	114	0	155
			倍率	1.0	1.0	1.2	-	1.2
		入学者	<b>3</b>	<b>38</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>61</b>	
		社会福祉	志願者	5	32	145	0	182
			受験者	5	32	144	0	181
			合格者	5	32	103	0	140
			倍率	1.0	1.0	1.4	-	1.3
		入学者	<b>5</b>	<b>32</b>	<b>25</b>	<b>0</b>	<b>62</b>	
		健康栄養	志願者	11	65	439	1	516
			受験者	11	65	430	1	507
	合格者		2	35	132	1	170	
	倍率		5.5	1.9	3.3	1.0	3.0	
	入学者	<b>2</b>	<b>35</b>	<b>46</b>	<b>1</b>	<b>84</b>		
	薬	薬	志願者	6	57	654	1	718
			受験者	6	56	627	0	689
			合格者	3	39	180	0	222
			倍率	2.0	1.4	3.5	-	3.1
	入学者	<b>3</b>	<b>39</b>	<b>54</b>	<b>0</b>	<b>96</b>		
	保健医療	看護	志願者	8	57	733	2	800
			受験者	8	57	709	2	776
			合格者	3	38	192	0	233
			倍率	2.7	1.5	3.7	-	3.3
入学者		<b>3</b>	<b>38</b>	<b>66</b>	<b>0</b>	<b>107</b>		
理学療法		志願者	13	42	409	1	465	
		受験者	13	42	400	1	456	
		合格者	2	14	65	1	82	
	倍率	6.5	3.0	6.2	1.0	5.6		
入学者	<b>2</b>	<b>14</b>	<b>34</b>	<b>1</b>	<b>51</b>			
人間発達	子ども教育	志願者	13	58	335	0	406	
		受験者	12	58	328	0	398	
		合格者	3	44	181	0	228	
		倍率	4.0	1.3	1.8	-	1.7	
入学者	<b>3</b>	<b>44</b>	<b>52</b>	<b>0</b>	<b>99</b>			
合計	合計	志願者	59	349	2,857	5	3,270	
		受験者	58	348	2,777	4	3,187	
		合格者	21	240	967	2	1,230	
		倍率	2.8	1.5	2.9	2.0	2.6	
入学者	<b>21</b>	<b>240</b>	<b>297</b>	<b>2</b>	<b>560</b>			
学校			区分	推薦	学特 I	学特 II	一般	合計
高等学校	高等学校	志願者	376	1,565	1,601	6	3,548	
		受験者	376	1,558	1,223	6	3,163	
		合格者	366	1,459	1,141	1	2,967	
		倍率	1.0	1.1	1.1	6.0	1.1	
入学者	<b>366</b>	<b>157</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>527</b>			



2-2 卒業者数、修了者数(平成27年度)

学校	学部・研究科	学科	卒業者数
大学院	健康福祉学研究科	保健福祉学専攻 博士後期課程	1
		論文提出による博士(保健福祉学)	1
		保健福祉学専攻 博士前期課程	2
		保健福祉学専攻 博士前期課程	0
		食品栄養学専攻 博士前期課程	2
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	7
大学	健康福祉学部	医療情報学科	79
		社会福祉学科	80
		健康栄養学科	83
	薬学部	薬学科	57
	保健医療学部	看護学科	87
		理学療法学科	40
	人間発達学部	子ども教育学科	97
高等学校			434
幼稚園			121

2-3 トピックス

○平成28年3月卒業生の就職内定率

全国的に大学生の就職環境が厳しい中で、平成28年3月に卒業した本学の学生たちは、医療・福祉の資格や専門性を活かして熱心に就職活動に臨みました。

その結果、平成28年3月の就職内定状況は健康福祉学部 99.2%、保健医療学部 96.7%、薬学部89.5%、人間発達学部97.8%と高い割合となり、着実に実社会へとつなげることができました。

キャリアサポートセンターでは、各学科の就職活動スケジュールに合わせて、就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っております。また、「求人情報検索システム」を活用して、学生は求人情報及び求人票をパソコンや携帯電話から検索・閲覧できるようになっています。

今後も、アドバイザーの教員や各学科のキャリアサポート委員との連絡を密にして、学生の就職を支援して参ります。

表1 健康福祉学部就職内定率

健康福祉学部	医療情報	社会福祉	健康栄養	合計
卒業者	79名	80名	83名	242名
大学院等進学	1名	0名	2名	3名
就職希望者	78名	79名	81名	238名
就職者数	77名	78名	81名	236名
内定率	98.7%	98.7%	100.0%	99.2%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学科	合計
卒業者	87名	40名	127名
大学院等進学	1名	0名	1名
就職希望者	83名	40名	123名
就職者数	83名	36名	119名
内定率	100.0%	90.0%	96.7%

表3 薬学部就職内定率

薬学部	薬学部	合計
卒業者	57名	57名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	57名	57名
就職者数	51名	51名
内定率	89.5%	89.5%

表4 人間発達学部就職内定率

人間発達学部	人間発達学部	合計
卒業者	97名	97名
大学院等進学	4名	4名
就職希望者	91名	91名
就職者数	89名	89名
内定率	97.8%	97.8%

○国試等の合格者数・合格率

平成27年度卒業生の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表5 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率(%)
医療情報	診療情報管理士認定試験	30名	30名	100.0%
社会福祉	社会福祉士国家試験	69名	30名	43.5%
	精神保健福祉士国家試験	10名	8名	80.0%
健康栄養	管理栄養士国家試験	80名	79名	98.8%
	NR・サプリメントアドバイザー認定試験	64名	53名	82.8%
看護	看護師国家試験	87名	87名	100.0%
	保健師国家試験	20名	20名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	40名	34名	85.0%
薬	薬剤師国家試験	57名	51名	89.5%
	臨床検査技師国家試験	1名	0名	0.0%
人間発達	教員採用試験	22名	10名	45.5%
大学院・看護学専攻	助産師国家試験	4名	4名	100.0%

○その他の事業

・障害者差別解消法の合理的配慮規定等の施行に伴い、大学でも障がい支援委員会を立ち上げ、何らかの障害(身体、知的、精神)を持って入学してきた(在学している)学生が勉学や学生生活等で支援の申し出があった場合、大学として実施可能な支援を検討する体制が動き始めました。

・第26回 群馬県私立大学スポーツ大会が平成27年10月10日(土)～11日(日)に行われました。今回は本学が主管校でもあり、学生と教職員一丸となって大会運営に当たりました。参加校13校(1,144人)で、本学は183名が全ての種目(男女)に出場し、3チームが優勝杯を手に入れました。

・学術協定が交わされている海外の教育機関とは、平成27年度も双方間の短期研修が行われ、各国の文化・歴史・教育に触れると共に専攻分野に関わる知識を深めました。また、双方の学生交流を通じ、コミュニケーション力と国際的視野を広げる貴重な機会となりました。

◎ シドニー大学英語教育センター / ARV(高齢者施設)訪問(全学科)

派遣:H27年8月29日～9月13日(23名、16日間、ホームステイ)

◎ ドイツフレゼニウス大学(理学療法学科)

派遣:H27年9月15日～26日(8名、12日間、ホームステイ)

受入:H28年2月6日～15日(13名、10日間、ホテル/ホームステイ)

◎ インドネシアステカス大学(看護学科)

派遣:H28年3月8日～17日(11名、10日間、ホテルステイ)

◎ ベトナムホーチミン医科薬科大学(全学科)

派遣:H28年3月6日～16日(28名、11日間、ホテルステイ)

受入:H27年10月20日～29日(21名、10日間、ホテル/ホームステイ)

また、新たな提携校として、2015(平成27年)4月にフィンランドのヤムク大学と協定を結びました。28年度夏にはフィンランドの医療・福祉・教育を学び、施設を視察するプログラムを予定しています。

学内では、オープンキャンパス参加や学園祭出店を通して、高校生、地域住民など学内外の多くの方々に高崎健康福祉大学の国際交流活動について知って頂くことができました。

今後もより充実した国際交流活動を目指し質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思ひます。

・高大連携事業も7年目となり、平成27年度は系列の高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒を対象として、以下のとおり、特別プログラムを8事業実施いたしました。184名の生徒が参加し、それぞれ高校生の学びの一助となり、大変好評でした。

群馬県全体としても、高大連携の取組が活発化しており、本学も系列校以外の高校との取組が増加中です。

高大連携により大きく変わったのは、大学教員と高校教員のつながりが増したことです。さらに、高校生と関わることで、大学生も自らの学習の振り返りを行うことが出来、プレゼンテーション力の向上や、研究活動や資格取得への意欲の増加につながったようです。

本学では、こうした取組から派生したネットワークなどが、今後の学生サービスの向上につながることを期待して、これからも高大連携事業を継続していく予定です。

医療情報学科 黒沢病院見学

◎社会福祉学科 介護の世界を体験しよう！（介護・福祉の体験型授業）

◎社会福祉学科 車椅子バスケットボール大会

◎健康栄養学科 高崎市保健所見学（保健所内での管理栄養士の仕事について学ぶ）

◎薬学科 （講義・実験）免疫のしくみと免疫細胞

◎看護学科 （講義・演習）～初めての看護技術体験～「自閉症についての理解を深めよう！」「心臓と血圧：生まれたときからずっと頑張っている心臓」

◎理学療法学科 （講義・演習）「薬を使わない医療・理学療法の世界ー病院から日常までー」、（マッサージ・ストレッチ体験）「あなたの皮膚はきちんと動きますか？ー皮膚を動かし体の変化を体験しようー」「ストレッチングの講義体験をしよう」

◎子ども教育学科（リレー講義）「幼児期の教育ってなに？～保育者入門～」「人は教えられないと学べないのか？～自分の「当たり前」を問い直してみよう～」「学校事故」「子どもの発達と遊び」

・ボランティア・市民活動支援センターは、平成28年4月に設立10年を迎えます。27年度には「VSC開設10周年記念誌」の編集・発行を行いました。平成27年度の活動実績は下記の通りです。

◎VSCがコーディネートを行い、324団体からの依頼に対して、延べ1,610名の学生がボランティア活動に参加しました。

◎毎年10月に行う赤い羽根共同募金の学内募金では、学生サポーター延べ118名が学生に募金を呼びかけ、5日間で41,429円の募金額となりました。

◎2015（平成27）年4月25日に発生したネパール地震の被災者支援として、学内で募金活動を展開しました。5/25～29（5日間）、募金呼びかけに参加した学生は延べ78名、合計で30,500円を集め、公益財団法人日本ユニセフ協会に送金（寄付）しました。

◎企業とコラボし、ベルマーク運動を展開……26年度後期から実施、27年度の実績はベルマーク2,727枚、インクカートリッジ・プリンタトナー計345本が集まり、この運動を展開しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社を通じて、被災地の学校の支援活動に協力しました。今年度、ベルマークを回収する学生メンバーがグループを結成して、「べるふぁみ」が誕生しました。

◎学生スタッフ主催により「ボストーク（ボランティアを依頼する施設や団体が学内で学生と直接対話をする）」を実施しました。昨年に引き続き2回目となります。今年度は日程を2日間とし、1日あたり8団体、合計16団体に集まっていたいただき、学生がさまざまな活動を展開している団体と接点を持つことができました。

◎学生の発案により、海外の子どもたちを支援するための「古本回収プロジェクト」を実施しました。3月に教職員向けに回収を呼びかけ、383冊が集まりました。収益は業者を通じて一般社団法人ボランティアプラットフォームに寄付しました。

◎学内の学生サークルには、サークルの特性（和太鼓や吹奏楽、アカペラなど）を活かした活動ができるように活動先を紹介するなど実践に結び付けました。

◎東日本大震災に伴う災害復興支援ボランティア活動（学生活動団体「わたりば」）は、宮城県亘理町に2回（7/11、9/17-18）訪問し、延べ35名の学生が参加しました。また、大学祭では、学生の活動内容を紹介するパネル展示および活動地域（亘理町）の復興プロジェクトの製品を販売し、現地の団体に収益を還元しました。

◎27年度から本学は「大学間連携災害ボランティアネットワーク」に参加しました。同団体が主催する復興支援インターン（復興庁宮城復興局共催）に6名、夏期集中ボランティア（東北学院大学主催）に2名の学生が参加しました。

◎東日本大震災の被災者の現実と復興の現状を見学し、災害時のボランティア活動や専門性を考えることを目的として「第1回災害復興スタディツアー」を企画しました。30名の学生が現地に赴き、現地の住民や専門職に当時の話を伺い、自分たちにできる地域貢献について考えることができました。

・平成27年度群馬県教育委員会主催「第13回ぐんま教育賞」みやま未来賞（県民の部）に、看護学科4年 小野寺美里が入賞しました。この賞は、教育の向上のために、日ごろ思っていること、考えていること、実践していることなど、県民として共有したい知恵や取り組みについて自由に主題を設定し、文章にまとめて提言するものです。小野寺さんは、養護教諭教育実習での体験を基に、「子供たちに必要な力」というテーマで文章をまとめ、118編の応募の中から、見事「奨励賞」に輝きました。

・薬学部の斎藤克代助手が、日本薬学会第136年会優秀発表賞（ポスター発表の部）を受賞しました。また、斎藤助手は、群馬大学が実施している平成27年度子ども体験教室「群馬ちびっこ大学」プロジェクトメンバーとして地域貢献活動に多大な貢献をし、群馬大学より感謝状を贈られました。

・日本薬学会による長井記念薬学研究奨励支援事業の平成28年度採用内定者に、大学院薬学研究科在籍中の伴野拓巳（指導教員：荻原琢男教授）が選ばれました。

・平成27年9月26日、理学療法学科1期生と2期生による理学療法学科同窓会が開催されました。卒業生の約半数の40名余りが集まり、初代会長に1期生の松村彩奈さんが就任し、6名の役員も選出されました。参加した卒業生はいきいきとした表情をしており、それぞれの職場でしっかりと役割を果たしていることが伺い取れました。今後同窓会の果たす役割は大切となってきます。この同窓会が益々発展することを期待します。

・平成27年度大学スケート部は、佐藤綾乃(子ども教育学科1年)、新濱立地(社会福祉学科1年)、浅野実久(健康栄養学科1年)が日本代表として、ジュニアワールドカップ第1戦、2戦に出場し、佐藤は1500m、3000m、マスタートで優勝、新濱は500mで優勝しました。国内大会では坂本永吉(理学療法学科3年)がJapan cup(1戦～4戦)ポイントランキング、男子500mで総合優勝。佐藤綾乃が第35回日本学生スピードスケート選手権大会で総合部門総合優勝を果たしました。また、第88回日本学生氷上選手権大会(インカレ)では念願であった女子総合優勝を果たすなど国際大会、国内大会で着々と成果を上げています。

・大学ネットボール部が第17回全日本ネットボール選手権大会で初優勝を果たしました。ネットボールとは選手同士の激しい接触がないこと、体力や体格に応じてポジションを選ぶなど女性向けのバスケットボールとしてイギリスで誕生し、日本では生涯スポーツとして親しまれております。

・高等学校では、平成27年5月に行われた第50回群馬県高等学校総合体育大会では、30年連続30回目の入場行進優秀校に選ばれ、4年連続22回目の女子総合優勝・男子総合も前年の16位を上回る11位と健闘しました。関東大会では、男子ソフトテニス部・女子弓道部が団体に準優勝、女子ソフトテニス部が3位に入賞しました。和歌山県を中心に開催された近畿総体には、本校史上最多の12団体72人の生徒が群馬県代表として出場しました。野球部は、三季連続甲子園出場という偉業を果たし甲子園でも活躍しました。またバレーボール部は、県大会で初の4冠を達成し2年連続4回目の春の高校バレーボール大会に出場しました。文化部では、吹奏楽部が多方面にわたり素晴らしい活躍を見せ、競技かるた部は全国総文祭に出場、演劇部は県高校芸術祭演劇部門で県大会に出場しました。書道部・写真部も活躍しました。

進学実績では、東北・群馬・埼玉大学などの国公立大学や慶応・早稲田・立教大学などの難関私立大学にも合格者を出しました。健大高崎高校は、真の「文武両道」を目指し教職員生徒が一丸となって真剣に毎日の学習に取り組んでいます。

・幼稚園では今年度初めての試みとして「子育てサロン」を開催しています。1回に5人ほどの保護者と園長・主任とで集まり、子育ての悩みを相談しあったり、園生活での様子を伝えたりしています。母親同士の関わりも深まり好評を得ています。

・「子ども・子育て支援新制度」が施行されて1年が経ちました。地域内でも認定こども園が増加する中、健大附属幼稚園は従前通りの幼稚園として建学の精神を守りながら、幼児教育を実践していきます。

## 2-4 設置認可

### ○認定看護師教育機関

大学の看護実践開発センターでは、群馬県初の認定看護師教育機関として、日本看護協会認定部より平成27年11月に認可されました。分野は「認知症看護」であり、教育機関の認可基準に基づき、認知症看護認定看護師の専任教員を確保し、学部とは別組織の看護実践開発センターを設置しました。さらに、基準を満たす実習病院・施設の確保、シラバス作成と講師確保、必要な規程・内規などを作成しました。平成28年1月に入学試験を行い30名の入学者が決まり、平成28年6月に開講の運びとなりました。

## 3-1 計算書類等

## 資金収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,154,560,000	4,159,245,800	△ 4,685,800
手数料収入	94,040,000	95,853,830	△ 1,813,830
寄付金収入	46,000,000	47,987,277	△ 1,987,277
補助金収入	989,340,000	983,013,034	6,326,966
国庫補助金収入	434,160,000	427,872,000	6,288,000
県補助金収入	549,070,000	549,022,800	47,200
市町村補助金収入	6,110,000	6,118,234	△ 8,234
資産売却収入	282,350,000	336,448,672	△ 54,098,672
付随事業・収益事業収入	164,870,000	175,733,756	△ 10,863,756
受取利息・配当金収入	28,390,000	31,433,403	△ 3,043,403
雑収入	84,200,000	89,477,810	△ 5,277,810
前受金収入	608,010,000	624,035,400	△ 16,025,400
その他の収入	122,140,000	136,839,738	△ 14,699,738
資金収入調整勘定	△ 680,290,000	△ 679,418,585	△ 871,415
前年度繰越支払資金	1,807,720,000	1,807,723,797	
収入の部 合計	7,701,330,000	7,808,373,932	△ 107,043,932
支出の部			
人件費支出	2,846,970,000	2,833,107,243	13,862,757
教育研究経費支出	1,223,110,000	1,220,925,834	2,184,166
管理経費支出	352,240,000	352,202,887	37,113
借入金等利息支出	1,350,000	1,275,366	74,634
借入金等返済支出	50,000,000	50,000,000	0
施設関係支出	13,010,000	13,001,040	8,960
設備関係支出	121,480,000	122,054,271	△ 574,271
資産運用支出	1,000,150,000	1,043,689,929	△ 43,539,929
その他の支出	78,540,000	139,076,666	△ 60,536,666
(予備費)	(0) 20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 61,790,000	△ 67,595,394	5,805,394
次年度繰越支払資金	2,056,270,000	2,100,636,090	△ 44,366,090
支出の部 合計	7,701,330,000	7,808,373,932	△ 107,043,932

資金収支内訳表

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	3,489,618,420	526,833,880	142,793,500
手数料収入	0	65,570,250	29,981,580	302,000
寄付金収入	0	41,594,000	6,062,000	331,277
補助金収入	0	428,391,209	494,154,425	60,467,400
国庫補助金収入	0	427,872,000	0	0
県補助金収入	0	333,000	494,004,000	54,685,800
市町村補助金収入	0	186,209	150,425	5,781,600
資産売却収入	336,448,672	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,850,484	87,916,048	82,583,764	3,383,460
受取利息・配当金収入	29,870,415	1,554,760	7,728	500
雑収入	1,684,960	54,297,694	29,261,592	4,233,564
計	369,854,531	4,168,942,381	1,168,884,969	211,511,701

支出の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
人件費支出	26,140,886	2,075,757,523	620,095,680	111,113,154
教育研究経費支出	0	896,767,465	272,491,898	51,666,471
管理経費支出	33,985,744	242,308,995	68,161,645	7,746,503
借入金等利息支出	1,275,366	0	0	0
借入金等返済支出	50,000,000	0	0	0
施設関係支出	0	13,001,040	0	0
設備関係支出	10,910,382	102,887,933	7,959,956	296,000
計	122,312,378	3,330,722,956	968,709,179	170,822,128

人 件 費 支 出 内 訳 表

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	1,622,263,971	538,004,298	92,678,769
本務教員	0	1,576,307,123	515,274,826	90,595,102
本俸	0	869,334,907	280,877,692	52,289,640
期末手当	0	337,886,100	112,433,300	19,407,700
その他の手当	0	147,523,526	44,439,837	6,243,894
所定福利費	0	221,562,590	77,523,997	12,653,868
兼務教員	0	45,956,848	22,729,472	2,083,667
職員人件費支出	25,300,886	421,550,229	56,841,382	16,486,785
本務職員	25,109,520	348,805,776	38,686,239	12,194,446
本俸	12,830,400	183,670,590	20,173,200	6,588,000
期末手当	6,678,900	76,489,100	8,294,300	2,622,100
その他の手当	4,839,224	37,781,413	4,405,612	1,231,980
所定福利費	760,996	50,864,673	5,813,127	1,752,366
兼務職員	191,366	72,744,453	18,155,143	4,292,339
役員報酬支出	840,000	0	0	0
退職金支出	0	31,943,323	25,250,000	1,947,600
教員	0	31,099,324	25,250,000	1,947,600
職員	0	843,999	0	0
合計	26,140,886	2,075,757,523	620,095,680	111,113,154

活動区分資金収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位;円)

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	4,159,245,800
		手数料収入	95,853,830
		特別寄付金収入	19,956,000
		一般寄付金収入	28,031,277
		経常費等補助金収入	983,013,034
		付随事業収入	175,733,756
		雑収入	89,477,810
		教育活動資金収入計	5,551,311,507
	支出	人件費支出	2,833,107,243
		教育研究経費支出	1,220,925,834
		管理経費支出	352,202,887
		教育活動資金支出計	4,406,235,964
		差引	1,145,075,543
	調整勘定等	36,575,924	
	教育活動資金収支差額	1,181,651,467	
施設設備活動による資金収支	科目		金額
	支出	施設関係支出	13,001,040
		設備関係支出	122,054,271
		施設整備等活動資金支出計	135,055,311
		差引	△ 135,055,311
	施設整備等活動資金収支差額	△ 135,055,311	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			1,046,596,156
その他の活動による資金収支	科目		金額
	収入	有価証券売却収入	330,938,490
		投資信託特別分配収入	5,510,182
		預り金受入収入	30,605,566
		保険積立金回収収入	19,289,000
		立替金回収収入	2,794,769
		小計	389,138,007
		受取利息・配当金収入	31,433,403
		その他の活動資金収入計	420,571,410
	支出	借入金等返済支出	50,000,000
		有価証券購入支出	603,000,024
		減価償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000
		収益事業元入金支出	105,938,482
		保険積立金支払支出	34,751,423
		預り金支払支出	24,961,742
		立替金支払支出	54,315,194
		小計	1,172,966,865
		借入金等利息支出	1,275,366
		その他の活動資金支出計	1,174,242,231
		差引	△ 753,670,821
		調整勘定等	△ 13,042
		その他の活動資金収支差額	△ 753,683,863
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		
前年度繰越支払資金			1,807,723,797
翌年度繰越支払資金			2,100,636,090



事業活動収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位:円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	教育活動収入の部	学生生徒納付金	4,154,560,000	4,159,245,800	△ 4,685,800
		手数料	94,040,000	95,853,830	△ 1,813,830
		寄付金	51,170,000	47,987,277	3,182,723
		経常費等補助金	989,340,000	983,013,034	6,326,966
		付随事業収入	164,870,000	175,733,756	△ 10,863,756
		雑収入	84,200,000	89,477,810	△ 5,277,810
		教育活動収入計	5,538,180,000	5,551,311,507	△ 13,131,507
	支教 出育 の活 部動	科目	予算	決算	差異
		人件費	2,846,970,000	2,833,107,243	13,862,757
		教育研究経費	1,675,760,000	1,677,064,242	△ 1,304,242
		管理経費	392,240,000	392,647,213	△ 407,213
		教育活動支出計	4,914,970,000	4,902,818,698	12,151,302
	教育活動収支差額		623,210,000	648,492,809	△ 25,282,809
	教育活動外収支	収事 入業 の活 部動	科目	予算	決算
受取利息配当金			28,390,000	31,433,403	△ 3,043,403
教育活動外収入計			28,390,000	31,433,403	△ 3,043,403
支事 出業 の活 部動		科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	1,350,000	1,275,366	74,634
		教育活動外支出計	1,350,000	1,275,366	74,634
教育活動外収支差額		27,040,000	30,158,037	△ 3,118,037	
経常収支差額		650,250,000	678,650,846	△ 28,400,846	
特別収支	収事 入業 の活 部動	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	95,940,000	95,949,525	△ 9,525
		その他の特別収入	0	7,165,783	△ 7,165,783
		特別収入計	95,940,000	103,115,308	△ 7,175,308
	支事 出業 の活 部動	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	24,930,000	25,212,842	△ 282,842
		特別支出計	24,930,000	25,212,842	△ 282,842
特別収支差額		71,010,000	77,902,466	△ 6,892,466	
予備費		(0) 20,000,000		20,000,000	
基本金組入前当年度収支差額		701,260,000	756,553,312	△ 55,293,312	
基本金組入額合計		△ 122,970,000	△ 124,830,798	1,860,798	
当年度収支差額		578,290,000	631,722,514	△ 53,432,514	
前年度繰越収支差額		△ 3,829,390,000	△ 3,829,387,422	△ 2,578	
翌年度繰越収支差額		△ 3,251,100,000	△ 3,197,664,908	△ 53,435,092	
(参考)					
事業活動収入計		5,662,510,000	5,685,860,218	△ 23,350,218	
事業活動収支計		4,961,250,000	4,929,306,906	31,943,094	

事業活動収支内訳表

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科目		部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高校	附属幼稚園
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	0	3,489,618,420	526,833,880	142,793,500
		手数料	0	65,570,250	29,981,580	302,000
		寄付金	0	41,594,000	6,062,000	331,277
		経常費等補助金	0	428,391,209	494,154,425	60,467,400
		付随事業収入	1,850,484	87,916,048	82,583,764	3,383,460
		雑収入	1,684,960	54,297,694	29,261,592	4,233,564
		教育活動収入計	3,535,444	4,167,387,621	1,168,877,241	211,511,201
	事業活動支出の部	人件費	26,140,886	2,075,757,523	620,095,680	111,113,154
		教育研究経費	0	1,220,293,115	391,333,382	65,437,745
		管理経費	37,403,834	264,114,069	80,726,236	10,403,074
		教育活動支出計	63,544,720	3,560,164,707	1,092,155,298	186,953,973
教育活動収支差額		△ 60,009,276	607,222,914	76,721,943	24,557,228	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息配当金	29,870,415	1,554,760	7,728	500
		教育活動外収入計	29,870,415	1,554,760	7,728	500
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,275,366	0	0	0
		教育活動外支出計	1,275,366	0	0	0
	教育活動外収支差額		28,595,049	1,554,760	7,728	500
経常収支差額		△ 31,414,227	608,777,674	76,729,671	24,557,728	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	95,949,525	0	0	0
		その他の特別収入	0	7,122,580	43,203	0
		特別収入計	95,949,525	7,122,580	43,203	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	10,703,279	14,509,563	0	0
		特別支出計	10,703,279	14,509,563	0	0
特別収支差額		85,246,246	△ 7,386,983	43,203	0	
基本金組入前当年度収支差額		53,832,019	601,390,691	76,772,874	24,557,728	
基本金組入額合計		△ 10,910,382	△ 105,621,257	△ 8,003,159	△ 296,000	
当年度収支差額		42,921,637	495,769,434	68,769,715	24,261,728	
前年度繰越収支差額		1,397,465,431	△ 2,794,469,533	△ 2,385,363,260	△ 47,020,060	
翌年度繰越収支差額		1,440,387,068	△ 2,298,700,099	△ 2,316,593,545	△ 22,758,332	
(参考)						
事業活動収入計		129,355,384	4,176,064,961	1,168,928,172	211,511,701	
事業活動収支計		75,523,365	3,574,674,270	1,092,155,298	186,953,973	

貸借対照表

平成28年 3月31日まで

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	13,751,388,390	13,346,001,090	405,387,300
有形固定資産	10,203,620,696	10,579,398,364	△ 375,777,668
特定資産	1,900,000,000	1,600,000,000	300,000,000
その他の固定資産	1,647,767,694	1,166,602,726	481,164,968
流動資産	2,221,029,075	1,900,693,206	320,335,869
資産の部 合計	15,972,417,465	15,246,694,296	725,723,169
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	125,000,000	175,000,000	△ 50,000,000
流動負債	770,452,123	751,282,266	19,169,857
負債の部 合計	895,452,123	926,282,266	△ 30,830,143
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	17,830,630,250	17,705,799,452	124,830,798
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	344,000,000	344,000,000	0
繰越収支差額	△ 3,197,664,908	△ 3,829,387,422	631,722,514
純資産の部 合計	15,076,965,342	14,320,412,030	756,553,312
負債及び純資産の部 合計	15,972,417,465	15,246,694,296	725,723,169

財 産 目 録

平成28年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目		27年度末
[1]資産総額		15,972,417,465
1、基本財産		10,203,620,696
(1)土地	124,530.48㎡	1,494,784,568
(2)建物	59,346.62㎡	6,820,727,656
(3)構築物		481,613,176
(4)図書		528,584,552
(5)教具・校具、及び備品		873,615,252
(6)その他(車両)		4,295,492
2、運用財産		5,768,796,769
(1)預金、現金		2,100,636,090
(2)積立金		2,167,926,829
(3)有価証券		920,544,596
(4)電話加入権		952,358
(5)施設利用権		4,160,236
(6)出資金		600,000
(7)収益事業元入金		416,254,334
(8)長期貸付金		18,020,000
(9)敷金		9,281,901
(10)未収入金		59,128,585
(11)短期貸付金		3,180,000
(12)前払金		3,769,206
(13)立替金		54,315,194
(14)ソフトウェア		10,027,440
[2]負債総額		895,452,123
1、固定負債		125,000,000
(1)長期借入金		125,000,000
2、流動負債		770,452,123
(1)短期借入金		50,000,000
(2)前受金		624,035,400
(3)未払金		65,811,157
(4)預り金		30,605,566

### 3-2 事業活動収支計算の推移

(\*学校法人会計基準一部改正に伴い、平成26年度以前は旧基準(括弧内)で対応しています)

(単位：円)

学 園	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業活動(帰属)収入	5,458,537,743	5,457,611,335	5,565,344,475	5,685,860,218
事業活動(消費)支出	4,910,071,311	4,768,364,334	4,847,956,557	4,929,306,906
人件費	2,696,021,584	2,732,594,545	2,713,211,136	2,713,211,136
教育研究経費	1,661,393,595	1,608,051,407	1,742,636,056	1,742,636,056
管理経費	396,736,676	409,355,313	377,709,771	377,709,771
その他	155,919,456	18,363,069	14,399,594	26,488,208

法 人	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常(帰属)収入	5,022,798	14,036,338	68,229,153	33,405,859
事業活動(消費)支出	58,181,638	49,270,772	60,033,993	75,523,365
人件費	26,752,075	26,864,840	29,950,748	26,140,886
教育研究経費	0	0	0	0
管理経費	17,218,812	21,507,335	27,567,590	37,403,834
その他	14,210,751	898,597	2,515,655	11,978,645

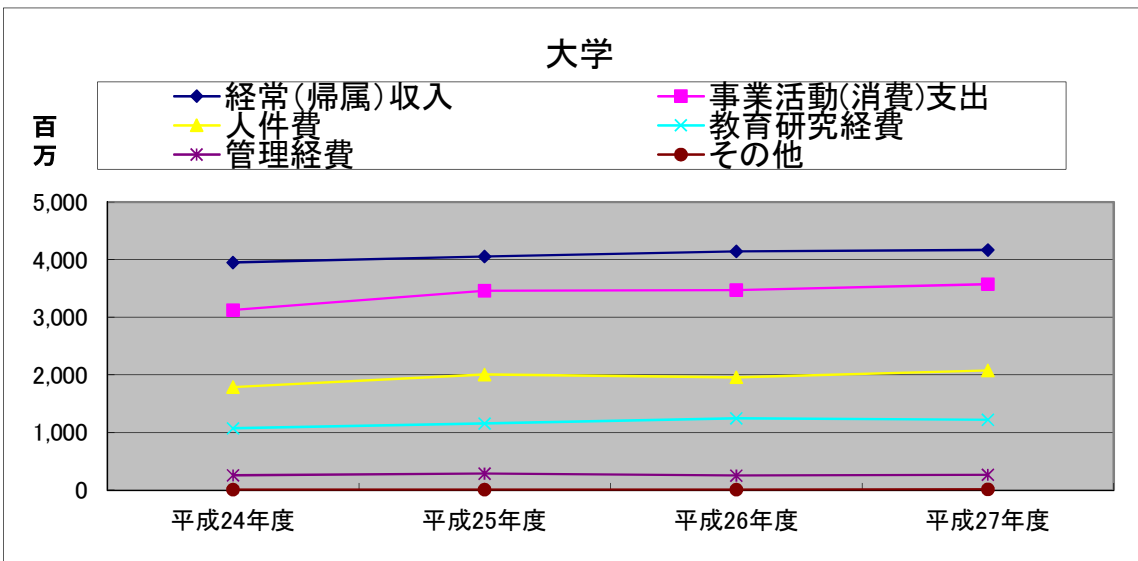
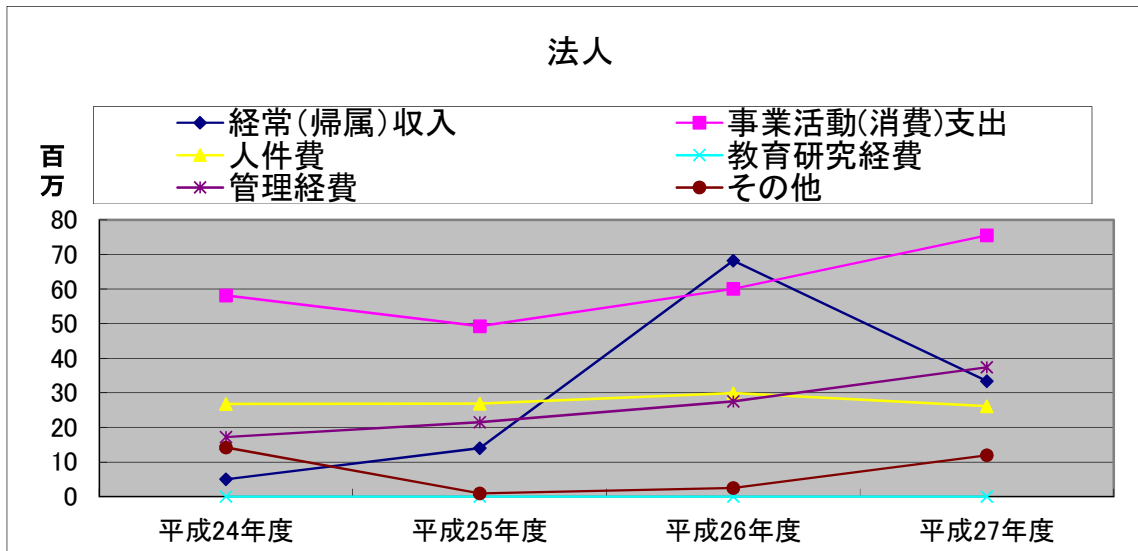
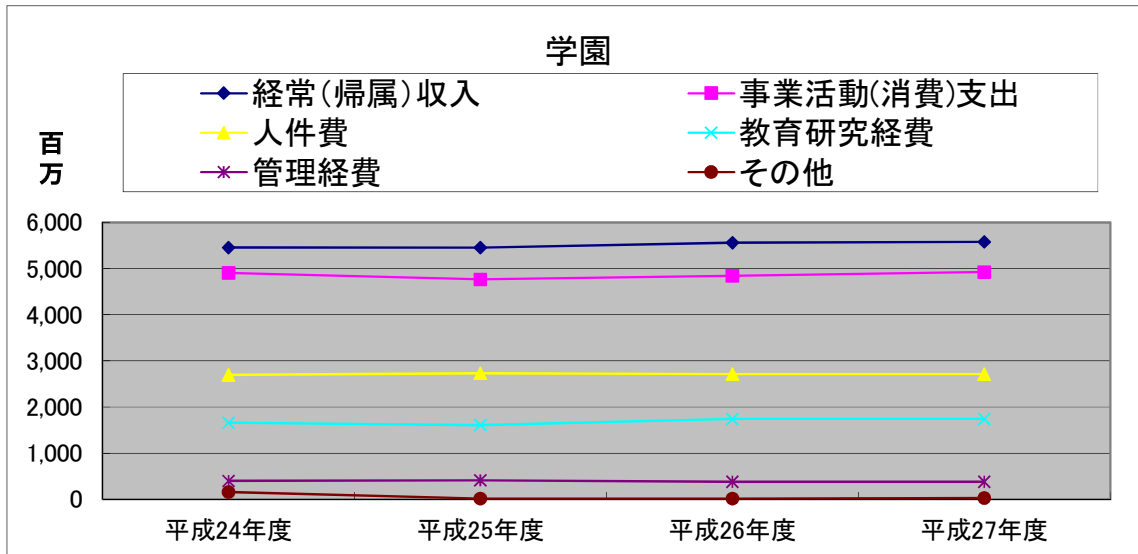
大 学	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常(帰属)収入	3,951,953,481	4,055,513,834	4,143,376,481	4,168,942,381
事業活動(消費)支出	3,127,181,829	3,462,025,852	3,471,364,688	3,574,674,270
人件費	1,788,782,919	2,007,651,779	1,959,607,970	2,075,757,523
教育研究経費	1,073,332,279	1,156,397,165	1,246,739,164	1,220,293,115
管理経費	256,076,190	287,165,427	253,432,488	264,114,069
その他	8,990,441	10,811,481	11,585,066	14,509,563

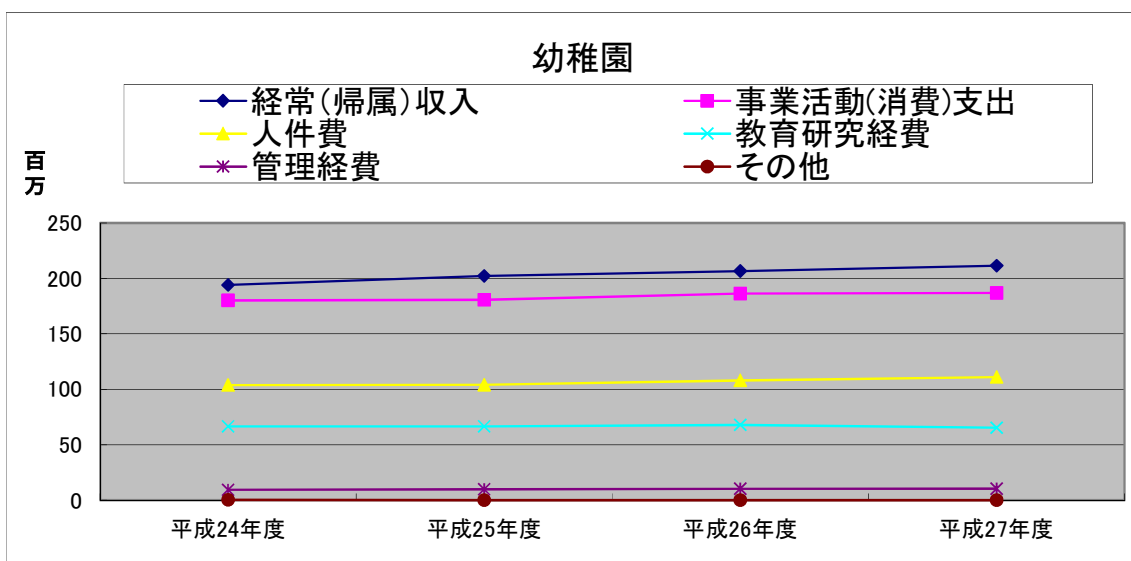
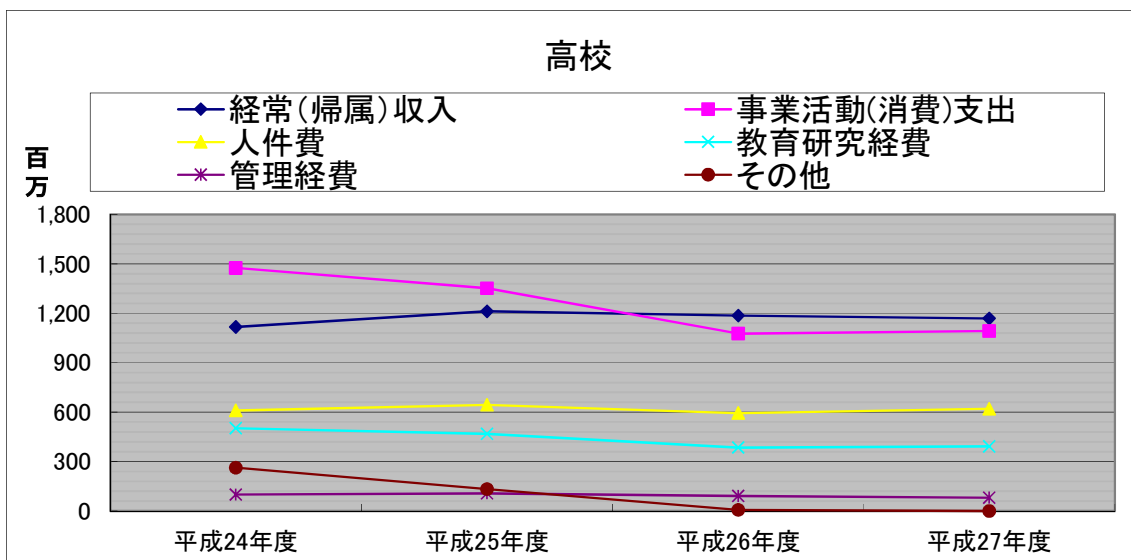
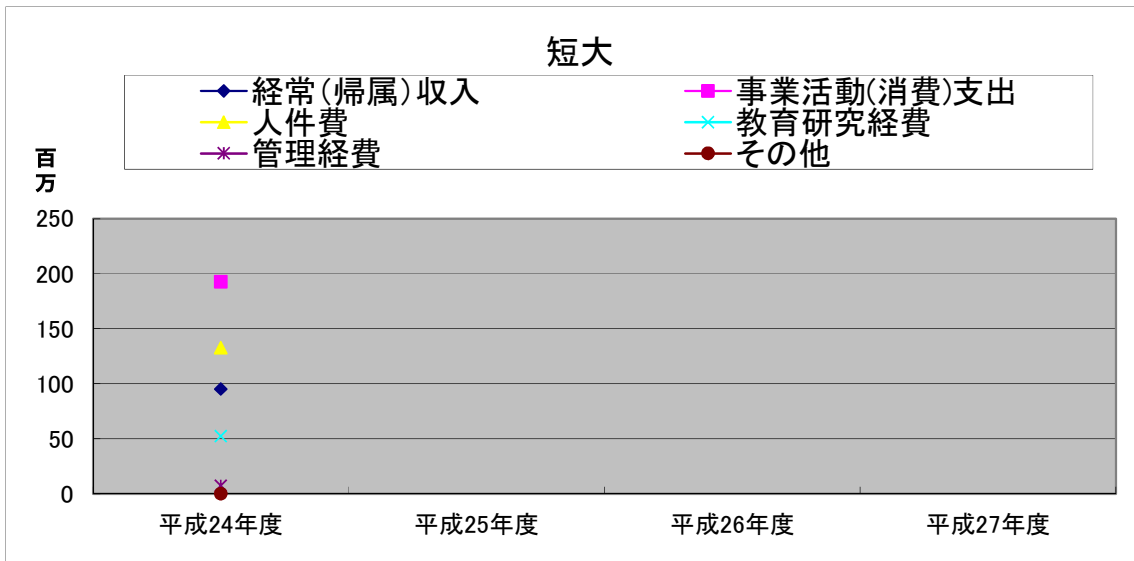
短 大	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常(帰属)収入	95,081,843			
事業活動(消費)支出	192,784,901			
人件費	132,836,616			
教育研究経費	52,430,897			
管理経費	7,382,977			
その他	134,411			

高 校	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常(帰属)収入	1,212,342,510	1,185,718,692	1,147,198,505	1,168,884,969
事業活動(消費)支出	1,351,752,380	1,076,414,910	1,130,258,582	1,092,155,298
人件費	643,834,232	593,938,056	615,648,336	620,095,680
教育研究経費	468,943,201	384,900,110	427,979,043	391,333,382
管理経費	106,705,890	90,924,387	86,332,330	80,726,236
その他	132,269,057	6,652,357	298,873	0

幼稚園	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常(帰属)収入	194,137,111	202,342,471	206,540,336	211,511,701
事業活動(消費)支出	180,170,563	180,652,800	186,299,294	186,953,973
人件費	103,815,742	104,139,870	108,004,082	111,113,154
教育研究経費	66,687,218	66,754,132	67,917,849	65,437,745
管理経費	9,352,807	9,758,164	10,377,363	10,403,074
その他	314,796	634	0	0

3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ





### 3-4 事業活動収支計算の財務比率の推移

(\*学校法人会計基準一部改正に伴い、平成26年度以前は旧基準(括弧内)で対応しています)

(%)

学園	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	49.3	50.0	48.7	47.7
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	30.4	29.4	31.3	30.6
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	7.2	7.5	6.7	6.6
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	10.0	12.6	12.8	13.3

法人	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	532.6	191.3	43.8	78.2
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	0.0	0.0	0.0	0.0
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	342.8	153.2	40.4	111.9
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	△ 1,058.3	△ 251.0	12.0	41.6

大学	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	45.2	49.5	47.2	49.7
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	27.1	28.5	30.0	29.2
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	6.4	7.0	6.1	6.3
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	20.8	14.6	16.2	14.4

短大	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	139.7			
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	55.1			
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	7.7			
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	△ 102.7			

高校	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	53.1	50.0	53.6	53.0
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	38.6	32.4	37.3	33.4
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	8.8	7.6	7.5	6.9
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	△ 11.4	9.2	1.4	6.6

幼稚園	算式	24年度	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費／經常収入(帰属収入)	53.4	51.4	52.2	52.5
教育研究経費比率	教育研究経費／經常収入(帰属収入)	34.3	32.9	32.8	30.9
管理経費比率	管理経費／經常収入(帰属収入)	4.8	4.8	5.0	4.9
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 (帰属収入－消費支出／帰属収入)	7.1	10.7	9.8	11.6



### 3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

#### 3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,154,560千円に対し決算4,159,245,800円で4,685,800円の増額、手数料収入 予算94,040千円に対し決算95,853,830円で1,813,830円の増額、寄付金収入 予算46,000千円に対し決算47,987,277円で1,987,277円の増額、補助金収入 予算989,340千円に対し決算983,013,034円で6,326,966円の減額、資産売却収入 予算282,350千円に対し決算336,448,672円で54,098,672円の増額、付随事業・収益事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の使用料、受託・共同研究費の収入及び認定看護師教育課程入学試験の検定料であり、予算164,870千円に対し決算175,733,756円で10,863,756円の増額、受取利息・配当金収入 予算28,390千円に対し決算31,433,403円で3,043,403円の増額、雑収入 予算84,200千円に対し決算89,477,810円で5,277,810円の増額、前受金収入 予算608,010千円に対し決算624,035,400円で16,025,400円の増額、その他の収入 予算122,140千円に対し決算136,839,738円で14,699,738円の増額、資金収入調整勘定 予算△680,290千円に対し決算△679,418,585円で871,415円の減額、前年度繰越支払資金 予算1,807,720千円に対し決算1,807,723,797円となり、収入の部合計 予算7,701,330千円に対し決算7,808,373,932円で107,043,932円の増額となった。

#### 3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算2,846,970千円に対し決算2,833,107,243円で13,862,757円の減額、教育研究経費支出 予算1,223,110千円に対し決算1,220,925,834円で2,184,166円の減額、管理経費支出 予算352,240千円に対し決算352,202,887円で37,113円の減額、借入金等利息支出 予算1,350千円に対し決算1,275,366円で74,634円の減額、借入金等返済支出 予算50,000千円に対し決算50,000,000円で差異はなく、施設関係支出 予算13,010千円に対し決算13,001,040円で8,960円の減額、設備関係支出 予算121,480千円に対し決算122,054,271円で574,271円の増額、資産運用支出 予算1,000,150千円に対し決算1,043,689,929円で43,539,929円の増額、その他の支出 予算78,540千円に対し決算139,076,666円で60,536,666円の増額、資金支出調整勘定 予算△61,790千円に対し決算△67,595,394円で5,805,394円の減額となり、次年度繰越支払資金 予算2,056,270千円に対し決算2,100,636,090円で44,366,090円の増額となり、支出の部合計 予算7,701,330千円に対し決算7,808,373,932円で107,043,932円の増額となった。

#### 3-8 活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支 教育活動資金収入計5,551,311,507円に対し教育活動資金支出計4,406,235,964円で差引1,145,075,543円に調整勘定等36,575,924円を加算した結果、教育活動資金収支差額1,181,651,467円となった。

施設整備等活動による資金収支 施設整備等活動資金支出計135,055,311円で差引△135,055,311円の結果、施設整備等活動資金収支差額△135,055,311円となり、小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)が1,046,596,156円となった。

その他の活動による資金収支 その他の活動資金収入計420,571,410円に対しその他の活動資金支出計1,174,242,231円で差引△753,670,821円に調整勘定等△13,042円を加算した結果、その他の活動資金収支差額△753,683,863円となった。

この結果、支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)292,912,293円を前年度繰越支払資金1,807,723,797円に加算し翌年度繰越支払資金2,100,636,090円となった。

#### 3-9 事業活動収支計算書

教育活動収支 教育活動収入計 予算5,538,180千円に対し決算5,558,477,290円で20,297,290の増額、教育活動支出計 予算4,914,970千円に対し決算4,902,818,698円で12,151,302の減額となり教育活動収支差額 予算623,210千円に対し決算648,492,809円で25,282,809円の増額となった。

教育活動外収支 教育活動外収入計28,390千円に対し決算31,433,403円で3,043,403円の増額、教育活動外支出計 予算1,350千円に対し決算1,275,366円で74,634円の減額となり教育活動外収支差額 予算27,040千円に対し決算30,158,037円で3,118,037の増額で、経常収支差額 予算650,250千円に対し決算678,650,846円で28,400,8469円の増額となった。

特別収支 特別収入計 予算95,940千円に対し決算95,949,525円で9,525円の増額、特別支出計 予算24,930千円に対し25,212,842円で282,842円の増額となり特別収支差額 予算71,010千円に対し決算77,902,466円で6,892,466円の増額となった。

基本金組入前当年度収支差額 予算701,260千円に対し決算756,553,312円で55,293,312円の増額、基本金組入額合計 予算△122,970千円に対し決算△124,830,798円で1,860,798円の増額となり、当年度収支差額 予算578,290千円に対し決算631,722,514円で53,432,514円の増額、前年度繰越収支差額 予算△3,829,390千円に対し決算△3,829,387,422円で2,578円の減額、翌年度繰越収支差額 予算△3,251,100千円に対し決算3,197,644,908円で53,435,092円の減額となった。

### 3-10 貸借対照表

#### ○ 資産の部

固定資産 本年度末13,751,388,390円に対し前年度末13,346,001,090円で405,387,300円の増額、流動資産 本年度末2,221,029,075円に対し前年度末1,900,693,206円で320,335,869円の増額となり、資産の部合計 本年度末15,972,417,465円に対し前年度末15,246,694,296円で725,723,169円の増額となった。

#### ○ 負債の部

固定負債 本年度末125,000,000円に対し前年度末175,000,000円で50,000,000円の減額、流動負債 本年度末770,452,123円に対し前年度末751,282,266円で19,169,857円の増額であり、負債の部合計 本年度末895,452,123円に対し前年度末926,282,266円で30,830,143円の減額となった。

#### ○ 純資産の部

基本金 本年度末18,274,630,250円に対し前年度末18,149,799,452円で124,830,798円の増額、繰越収支差額 本年度末△3,197,664,908円に対し前年度末△3,829,387,422円で631,722,514円の減額であり、純資産の部合計が本年度末15,706,965,342円に対し前年度末14,320,412,030円で756,553,312円の増額となった。この結果、負債及び純資産の部合計 本年度末15,972,417,465円に対し前年度末15,246,694,296円で725,723,169円の増額となった。

### 3-11 監査報告書

## 監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学  
理事長 須藤 賢一 殿

平成 28 年 5 月 20 日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 伊藤 文隆



監 事 永井 乙彦



私たち監事は、私立学校法 37 条第 3 項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第 8 条各号の定めに基づき、平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）の法人の財産の状況及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

#### 1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「新日本有限責任監査法人」公認会計士と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

#### 2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

### 4 今後の課題

平成28年5月1日現在の大学、高校、幼稚園の学生・生徒・園児の在籍者数はそれぞれ2,437名、1,452名、364名総数4,252名(27年度4,188名)、志願者数は高校が約300名増加し、大学が約300名減少し法人全体としては昨年並みであり法人経営的には安定を保っている。しかし少子高齢化は確実に進行している情勢にあり、引き続き本学の質の向上に努め、地域活性化の要として学校経営に邁進していきたい。

## 所在地

法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1

TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055

URL <http://www.takasaki-u.ac.jp>

保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60

TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2

TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531

TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855

URL <http://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1

TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180

URL <http://takasaki-u-kinder.com>

クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2

TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860

URL <http://www.kendai-clinic.jp>